

小論文

解 答 紙

受 験 番 号

(3 枚中 1 枚目)

問 1 出題意図

この箇所では指摘されるのは、自然保護のために外来生物の排除を是とする考え方が、一九世紀のロマン主義に由来しているという思想史的な背景だけでなく、自己の真正性や正当化を訴えるために他者を排斥するといった思想へと結びつくような傾向でもある。

一見して、客観的に自然を記述しているように思える「生態学」という科学的な学問領域にも、そうして特定の時代や文化に特有の「価値」観が紛れ込むことを見抜き、それが具体的にどのようなかたちで現れ出ることについて考察する能力を問うための出題である。

問 2 出題意図

本文中に指摘される「自然中心」主義と「人間中心」主義との対立は、外来生物の問題や生態学の領域にわかりやすく浮かび上がる一方、現在の環境問題や文化間の軋轢など、人工物や自然物が複雑に絡み合った状況下において単純な因果関係では解決できないような事態、つまりはデザインの領域で言うところの「厄介な問題」のひとつでもある。

こうした状況を論理的かつ明快に整理し、説明することができる能力を問うと同時に、そのうえで拙速な問題解決に頼らない粘り強い思考を求める出題である。